



卓球部OB会から100周年に寄せて

高校23期 鈴木 繁



緑高100周年の歴史と共に歩んできた、卓球部の歴史についてご紹介します。

卓球部OB会名簿を見ると、高2期から高75期の74学年、400名を超える部員名が記されています。これに現役生を加えると、卓球部は77年間にわたり地道に活動を続けてきたことになります。

卓球部OB会は、昭和40年代初期に荻原初代会長（高2期）を中心に結成。結成当時はベビーブーマー世代が大学生であり、卓球部練習にも熱心に顔を出していただき、合宿では現役1名にOB2名がついて指導するような状況もしばしばありました。そのような伝統の下、現在まで脈々と繋がっています。その一つの原動力が下村杯です。

下村杯は、毎年夏季にOBと現役生が一堂に会し、卓球を通じて交流を深める一大イベントです。名称は発足時の卓球部顧問下村先生の名に由来。2023年度の下村杯は、3年間のコロナ中断を経て、2023年8月5日に無事に再開実施することができました。今回の再開により、フレッシュで活力に満ちた現役生とも交流でき、卓球部の伝統が将来に向けて継続できると確信することができました。



Y O K O H A M A

M I D O T H

R I G A O K A

現在は、OB会結成から56年を経過。過去には、結成20周年、30周年、40周年、50周年の記念式典をいずれも元町クリフサイドにて（卓球部OBであるクリフサイド社長の野坂欣也氏（高10期）の協力を得て）実施してきました。

今後は、コロナ前と同様の活動ができる状態に早く戻り、次の60周年記念が無事に開催できるよう、関係者で尽力をしていく所存です。

プロフィール

昭和46年 1971年 卒業
中学・高校・大学と卓球部に所属
戦型はシェークの守備型カットマン
卓球部OB会長を2017年より歴任

